

JHAT とは

透析医療を継続可能にする ために組織された医療チームです

Japan Hemodialysis Assistance Team

JHAT

in disaster

日本災害時透析医療
協働支援チーム

これまでの災害において、透析医療の提供が困難となった施設が多数発生しました。透析患者さんは、透析可能な施設に殺到したため、対応スタッフは不眠不休の透析医療を提供しました。透析医療を継続させるためには、透析医療を支援するマンパワーや日常生活のための物資支援が必要不可欠です。JHATは、業務支援や物資支援のトレーニングを受けた隊員により透析医療に関わる様々な支援を実施します。

JHAT の
機能・任務

災害時の透析医療の継続のために

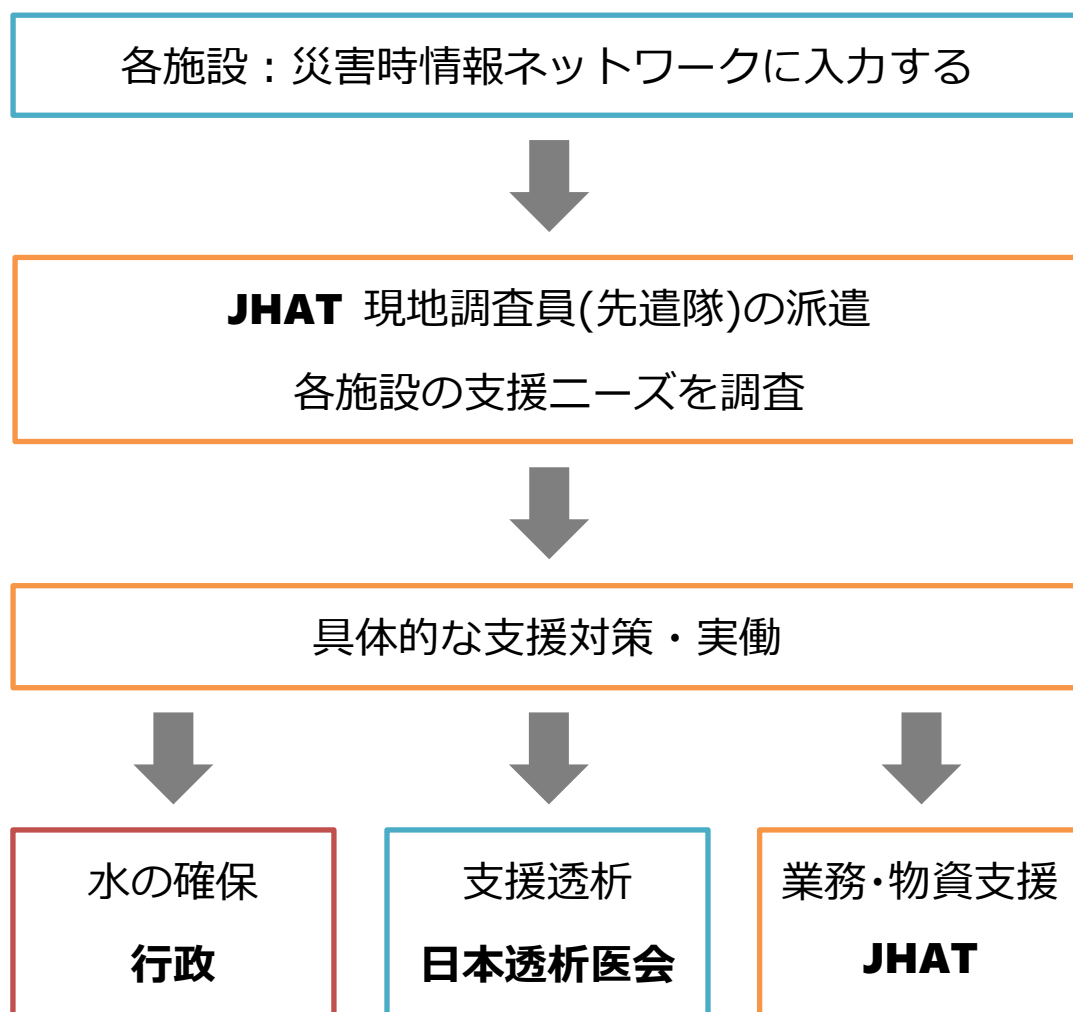
- ①先遣隊による現地調査
- ②業務の支援
- ③支援物資の供給

透析医療を継続するために

近年、地震のみならず集中豪雨による水害やこれらに起因する大規模停電、長期の断水など、透析医療を脅かす災害が増えています。このような災害やライフラインの途絶から患者さんの透析治療をいち早く再開、継続するための支援には、迅速な情報収集が不可欠です。

情報収集の方法として、全国津々浦々の透析医療施設まで網羅した日本透析医会災害時情報ネットワークや透析医療関係者のみならず省庁や地方自治体の担当者が登録しているメーリングリストがあります。これらは全国に及ぶ広範囲な情報共有には大きな威力を発揮しており、今後もその役割は、きわめて重要です。

一方、得られた情報は、具体的な支援として実働されなければなりません。**JHAT**は、大規模災害の発生とともに日本透析医会や全国各地の**JHAT** 隊員と連携し、迅速な災害支援への対応を開始します。



○ 支援の依頼方法

- ◆ **JHAT** 公式サイト (<https://jhat.jp/>) より依頼してください。
- ◆ 派遣期間（概ね1週間で交代・継続して支援いたします：要相談）
- ◆ 費用負担：各施設からの支援に対する費用は無料です。
- ◆ 宿泊・食事：準備は不要です。（支援に向かう各隊員が手配します。）

○ 業務支援の内容

- ◆ 透析治療業務全般、患者移動など
（支援を開始する当日に隊員との打ち合わせを行って頂きます）。
- ◆ 依頼する業務を平時より整理し文書化することで、円滑な業務支援が可能となります。
- ◆ 派遣する隊員は、透析医療への従事経験が5年以上の主に看護師、臨床工学技士です。依頼する職種はご相談ください。
- ◆ 派遣者は、個人の賠償責任保険に加入しており、派遣開始から終了までの事故に
適応されます。

○ 隊員養成研修会

JHAT 隊員養成研修会は、毎年2月と7月に全国各地で開催されており、
2019年3月現在、200名の隊員が登録されています。



○活動実績

熊本地震 支援物資供給センター運営



平成30年7月豪雨 先遣隊派遣



○隊員登録について

登録は公式サイト (<https://jhat.jp>) から受け付けております。

※ 隊員登録には隊員登録申込と施設長の承諾書が必要です。

また、登録から3年以内に隊員養成研修会受講が必要になります。

公益社団法人 日本透析医会

一般社団法人 日本血液浄化技術学会

公益社団法人 日本臨床工学技士会

一般社団法人 日本腎不全看護学会

【事務局】

〒243-0292 神奈川県厚木市下萩野 1030 神奈川工科大学 K4-407

電話 046-291-3069 FAX 045-330-6863

E-mail : info@jhat.jp